

平成25年度

社会福祉法人 阿闍羅会

障害福祉サービス事業所

【就労移行支援】

【就労支援B型事業】

ワークショップ大鰐

事業報告

住 所：青森県南津軽郡大鰐町大字虹貝

字篠塚33番地11

電 話：0172-48-3662

F A X：0172-48-3028

〈Ⅰ〉 支援内容	
1. 生活支援	1
2. 作業支援	
(1) 農産事業	2
(2) パン事業	3
(3) 内部事業	4
3. 就労移行支援	6
4. 保健支援	7
5. 余暇活動支援	
①行事等	9
②利用者会活動	11
〈Ⅱ〉 給食	13
〈Ⅲ〉 防災	14
〈Ⅳ〉 広報	15
〈Ⅴ〉 研修及び会議	
(1) 会議開催状況	17
(2) 研修参加状況	18
〈Ⅵ〉 地域生活支援	19
〈Ⅶ〉 苦情解決	20
〈Ⅷ〉 がんばろう障害者元気ショップ事業	21

〈 I 〉 支援内容

1. 生活支援

担当：泉谷文子

日常生活に必要な、基本的な生活習慣の自立を目的とした。

自立性を養い、毎日の積み重ねによって望ましい習慣の形成や、社会生活の態度・性格の社会的適応性を育成し、地域生活への移行を念頭においた支援をした。

○支援内容

①基本的習慣の定着

あいさつ、排泄、生理の手当て、衣類の着脱・調整・たたみ方、歯磨き、手洗い、食事とその後始末、整理整頓、掃除

②コミュニケーションを図れるように支援した。

- ・言語の受容と表出に関する支援をした。
- ・パニックに対する本人への支援及び周りの利用者への理解に関する支援をした。
- ・コミュニケーション手段の選択と活用に関する支援をした。

③行動に支障がある利用者に対する支援をした。

- ・精神障害に関する理解とそれに関する支援をした。
- ・身体障害（盲・聾を含む）に関する理解とそれに関する支援をした。
- ・発達障害の理解とそれに関する支援をした。

④日常生活を送る為に安全な環境作りの支援をした。

- ・作業場の整理整頓をし足場等に危険がないように配慮した。
- ・行事活動及び休憩時間等に怪我をしないように注意した。
- ・危険と思われる物の管理をした。

2. 作業支援

昨年までの作業体制をベースに、通年通して専門的になれるよう利用者の作業を概ね固定化した。また、作業内容と作業環境を見直すことにより、乾燥しいたけの作業返還（ワークキャンパス大鰐へ返す）と、作業効率化を図った。

就労を目指す利用者に対しては、1名の方の就労が出来た。

工賃目標平均月額8,500円に対し、平均月額6,494円だった。

(1) 農産事業

担当：秋元兼洋

【年間合計収入 3,502,032円】

「野菜栽培」

栽培品目・・・長ネギ・黒豆

販売先・・・元気ショップ（ラーメン店）・鰐カム・大鰐町学校給食センター
（株）あらき（幸楽苑）・木村食品・リンクフーズ

【作業収入 3,079,938円】

○内容及び次年度の課題

台風による強風、長雨による被害があり、多少収品率が下がり収量が確保できず目標を達成するには至らなかった。また、新規の加工場が増えたことで調整作業が間に合わない日が多くあったので、卸先の整備をし円滑に作業が進むよう次年度は取り組む。

黒豆に関しては収入は差ほどなかったが、冬期間の作業にはなった。

「農作業依頼」

作業内容・・・枝ひろい・トマト栽培管理・リンゴ収穫・乾燥しいたけ

【作業収入 422,094円】

○内容及び次年度の課題

近隣農家へ出向き作業を行いました。主としてプチトマトの管理作業の委託を受け、ホルモン処理を行った。評判を聞き枝拾い・ホルモン処理を委託してくる新規農家さんが増えた。平成26年度もワークキャンパス大鰐と合同で作業を進めたい。

乾燥しいたけの依頼は、今年度で終了し、今後はワークキャンパス大鰐で行う。

(2) 食品製造販売事業 (パン事業)

担当：竹内友紀

【年間作業収入 3,124,300円】

○内容及び次年度への課題

売れ筋をふん別し、新商品切り替えに努めるも売上に繋げることが出来なかった。商品に関しては伸び悩むものだったが、利用者さんの支援に関しては手厚いものとなっている。惣菜生地 of 仕込みや繊細な部分もこなす事が出来た利用者さんもいる。度々の材料高騰価と極め付けの税率の引き上げに伴い、年度末までにパンの価格変更をしたが現状の商品はこれ以上下げることが出来ないためローコストの新商品を開発していく必要がある。

(3) 内部事業

担当：泉谷文子、幸山稚子

【年間合計収入 1,926,264円】

「受託部門」

縫製（アール）	197,999円
にんじん皮むき（木村食品）	478,740円
小林紙工	36,760円
木箱印字消し（石岡商店）	3,105円

【作業収入計 716,604円】

○内容及び次年度への課題

アールからの弱電作業が無くなり、縫製も若干減少、小林紙工の、箱の組み立て作業を追加作業に入れたが、秋口から、見通しが立たないとの連絡があり、作業自体が減少したが、平成25年度は、木村食品工業の作業が途切れる事が無かった為、作業収入は、若干では有るが増収となり、目標は達成できた。

「自主部門」

手芸品（鰐カム）	5,440円
リサイクル封筒（県福祉協会）	2,100円
タオル	1,000,930円

【作業収入計 1,008,470円】

○内容及び次年度への課題

裂き織り製品・さをり製品製作はコンスタントに行う時間が確保できなかったため、鰐カムへの納品もしていない。昨年度製作した物の在庫分の売り上げとなった。

タオル印刷はかっぱ温泉からの定期的な受注（サウナマット製作・直しを含む）があった。不定期の受注はひろさき農業共済組合、山口石油店、虹貝納税貯蓄組合だったが、今年度は、納品先が新たに、デイサービスおのえ、緑青園、藤田製麺、ユーザーサービス、佃オールディーズ、西レクと受注が増えた為大幅な増収が見られた。次年度も受注先を増やし収入が得られるようにしたい。

「その他」

銅線むき

201,100円

○内容及び次年度への課題

今年度は、天候により外作業が困難な時の作業として行った。銅線を分けてもらえる、大手の電気工事会社が二カ所増え（和電工業、協和電気工業）通年通して、銅線の在庫を抱える事ができるようになった。次年度も銅線の価格変動を確認しつつ、増収を目指して新規作業を模索していきたい。

3. 就労移行支援

担当：鎌田健司

障害者集団面接会への参加と津軽障害者就業・生活支援センターからの協力・連携もあり1名の職場実習を実施し1名の利用者を就労させる事が出来た。

実習並びに就労実績》

「加茂彩架さん」

・概略

平成25年10月16日(水)、ハローワーク主催の障害者就職面接会にて、「日清医療食品(株)」の面接を受け見事合格。就職へ至っている。

・就職先

会社名 : 日清医療食品株式会社 担当者：小堀智有喜
住所 : 岩手県盛岡市大通3-3-10
電話番号 : 019-629-2363

・就労先

会社名 : 弘前小野病院
住所 : 青森県弘前市大字和泉二丁目19-1
電話番号 : 0172-27-1433

・経過

雇用開始日：11月18日(月)～

○次年度への課題

- ・引き続き各関係機関との連携による情報収集を図る。
- ・保護者・利用者の意向を明確にし、それに沿った就労活動を進めて行く。
- ・外商事業からの協力を得ながら新たに就労体験も実施して行きたい。
- ・就労移行利用者の就労に対する意識向上を図る支援策を立てる。

4. 保健支援

担当：泉谷文子

①保健指導年間実施表

定期健康診断	6 / 3 ~ 21、 11 / 20
身体測定 (血圧・体重)	5 / 28、6 / 25、7 / 23、8 / 20、9 / 24、10 / 22、 11 / 19、12 / 24、1 / 20、2 / 19、3 / 18

②体力測定

12月20日 実施

③保健日誌からのまとめ

・工藤ミツ子さん

4月11日(木) 国立病院機構弘前病院にて左膝の人工関節置換手術を受ける。
5月24日退院。その後リハビリ通院を続ける。
8月20日顔の腫れ、歯からバイ菌が入ったため。歯科通院して治療をする。

・高橋敏男さん

抗酒剤は現在も服薬中。1ヶ月に1回のペースで受診。
12月5日夜、すみれ荘自室2階窓より転落、翌日病院へ搬送。診察の結果骨盤骨折、1月20日退院。

・秋元繁拓さん

高血圧のため、定期的に小山内医院を受診、毎朝降圧剤を服用中。

・花田真紀子さん

下痢や頭痛、腹痛の訴えが多く欠席が多かった。

・外崎砂斗美さん

そうま信クリニックに定期的に受診している。

・高橋真奈美さん

5月16日午前、血糖32まで降下、意識朦朧となる。11時半頃ようやく104まで回復。

・岩渕美紀さん

5月より右膝の痛みを訴え、山内整形外科に通院を繰り返す。7月31日終了したが、9月18日MRI検査の結果異常なし。

・加茂彩架さん

8月19日作業中にハウス内で虫さされ、えび医院受診。

・山内雄太さん

8月22日ハウス内で蜂に刺され、小山内医院受診。

・倉持寛奈さん

生理不順が続いている。母が状態を見て婦人科を受診している。

5. 余暇活動支援

①行事等（全体）

実施日	行事名	実施場所
4月13日（土）	三者面談	ワークショップ大鱈
4月27日（土）	レク（花見）	黒石伝承工芸館
5月11日（土）	スポーツレク	総合福祉センター 森山河川敷グラウンド
	ソフトボール練習	
5月18日（土）	だんご作り	ワークショップ大鱈
6月15日（土）	スポーツレク	総合福祉センター
	ソフトボール練習	
6月30日（日）	西地区レクリエーション大会	五所川原市営球場・菊ヶ丘公園
7月6日（土）	カラオケ	カラオケ合衆国城東店
7月20日（土）	遠足	虹の湖公園
8月17日（土）	流しそうめん	ワークショップ大鱈
8月25日（日）	青森県障害者スポーツ大会	総合運動公園陸上競技場
9月14日（土）	ワークまつり	ワークキャンパス大鱈
9月21日（土）	秋の文化祭作品作り	ワークショップ大鱈
10月5日（土）	NEW スポーツレク	大鱈スキー場プラザ
10月19日（土）	三者面談	ワークショップ大鱈
10月26日（土）	親子交流会	大鱈町あじらの森キャンプ場
11月16日（土）	幸楽苑外食レク	幸楽苑
11月30日（土）	温泉レク	地域交流センター鱈 come
12月14日（土）	忘年会	弘前パークホテル
12月20日（金）	体力測定	ワークショップ大鱈
12月28日（土）	もちつき	ワークショップ大鱈
1月11日（土）	初詣・町内散策	大円寺・大鱈町内
1月25日（土）	雪あそび	ショップ隣広場
2月15日（土）	ホットケーキ作り	ワークショップ大鱈
2月22日（土）	親子ボウリング・懇親会	Vボウルカフェ弘前・さくら野弘前アンさんの店
3月15日（土）	クッキー作り	ワークショップ大鱈
3月29日（土）	買い物学習	マックスバリュー大鱈店

・平成25年度は、計28回（内同日開催2回）の行事を実施した。

○レクリエーション

担当：簾内美希子

- ・平成25度は月2回(大型行事がある月は1回)の計21回実施した。
- ・主の担当1名と各月ごとに補助職員1名を決め取り組んだ。
- ・親子ボーリング他、保護者参加のレクリエーションを設け保護者、利用者、職員の交流の機会が増えた。

4月	27日(土)黒石伝承工芸館	10月	5日(土)NEW スポーツ
5月	11日(土)スポーツレク・ソフト	11月	26日(土)親子交流会
	18日(土)お団子作り		16日(土)幸楽苑外食
6月	8日(土)カラオケ大会	12月	30日(土)鱒カム温泉
	15日(土)スポーツレク・ソフト		14日(土)利用者忘年会
7月	20日(土)虹の湖遠足		28日(土)餅つき大会
8月	17日(土)流しそうめん	1月	11日(土)初詣・町内散策
9月	21日(土)文化祭作品作り		25日(土)雪上お楽しみ会
		2月	15日(土)デコレーションホットケーキ作り
			22日(土)親子ボーリング大会
		3月	15日(土)クッキー作り
			29日(土)買い物レク

【次年度への課題】

- ・スポーツレクリエーションでは利用者参加率が著しく低下傾向にある。内容の充実に重点を置き、レクリエーション全体の参加率向上を図る必要があると考える。
- ・保護者参加のレクリエーションでは案内文で明記し、不参加の保護者の方には行事記録等で報告し次回への参加を促す。

○ソフトボール

担当：佐藤直幸、植田善久、秋元兼洋

実施日	行事名	実施場所
5月11日(土)	練習	大鱒町社会福祉センター
6月15日(土)	練習	大鱒町社会福祉センター
10月15日(土)	玉納め	親子交流会と重なった為中止

・次年度への課題・方向付け

今年度はユニフォームを用意した。今年度も西地区レクリエーション大会に参加をし準優勝となった。次年度は練習を重ね、再び優勝を目指したい。

②利用者会活動

担当：幸山稚子

偶数月の初日に 15 時頃から、利用者会を実施。行事等の話し合いや、各委員会からの報告等をしてもらった。また、頑張った人の発表では、作業や生活面で頑張った人を発表し、みんなの前で今後の抱負などを発表してもらった。今年度は、緊急利用者会を開き（5月14日）、6月8日のカラオケ大会を職員研修があるため、日程変更について話し合った。

・利用者全体会

実施日	主な内容
平成25年 4月 1日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会決め ・頑張った人 ・作業予定について ・その他 ・新規利用者について ・お茶委員会から ・行事について
5月14日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・行事日程の変更について
6月 3日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・行事について ・西レクについて ・頑張った人 ・その他
8月 1日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・行事について ・作業予定について ・その他 ・頑張った人
10月 1日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・行事について ・忘年会について ・その他 ・頑張った人 ・お茶委員会から
12月 2日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・行事について ・頑張った人 ・その他 ・作業について ・お茶委員会から
平成26年 2月 3日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・行事について ・お茶委員会から ・その他 ・頑張った人 ・広報委員会から

・行事委員会

担当：秋元兼洋

- ・平成25年度計画にある「カラオケ」「ボウリング」「忘年会」の行事について、実施日2ヶ月前から第2・第4火曜日に会議日を設け、行事の内容・委員会の役割について会議を行った。

・お茶委員会

担当：泉谷文子

- ・毎日のお茶委員会の仕事を通し、持続性・協調性・責任感を養った。
- ・お茶の準備や毎月のおやつ計画を立てたり室内で使用するタオル等の洗濯・管理を行った。
- ・活動日は、毎日『朝・休憩・昼休み・帰りの会后』とし、2ヶ月に1度担当を変えた。
- ・会議日は、毎月末とした。

・広報委員会

担当：鎌田健司

- ・行事・連絡事項を朝の会で発表した。
- ・掲示物の入れ替え・張り替えを行った。
- ・年度初めに年間を通しての掃除分担を決めた。
- ・活動日は随時とした。

〈Ⅱ〉 給食

担当：十川文乃

①平成25年度 給食指導 対象者 男 2名 女 4名 計 6名

指 導 内 容	具 体 的 指 導 方 法	対 象 者
咀嚼・嚥下の補助	①主菜・副菜～刻み食。	女1名 男2名
糖尿病対策	①食事療法。	女1名
肥満対策	①主食の量を軽くする。 ②主菜・副菜～刻み食。	女2名

※全体的に早食い傾向なので、全利用者に対してゆっくり食べるように声かけをしている。

②平成25年度 年間行事食実施表

月	行 事	献 立 名	実施日	備 考
7	七夕	冷やしそうめん	7月 4日	
10	いも煮会	米沢風いも煮	10月 2日	
12	冬至	かぼちゃほうとう風うどん	12月19日	
12	クリスマス	コーンライス、フライドチキン、ケーキ	12月25日	マックスバリュよりケーキ頂いた
3	ひなまつり	ちらし寿司	3月 1日	

③平成25年度 嗜好調査 3ヶ月に1回 計4回 実施。

④平成25年度 給食だより 3ヶ月に1回 計4回 発行。

まとめ・反省

- ・行事食の際は、季節感を感じながら楽しんで食べていたと思う。
- ・昨年度に比べ、行事食・嗜好調査・給食だよりを充実させる事が出来たので、来年度も維持していきたい。
- ・郷土食を出すことが出来なかったなので、来年度は出していきたい。
- ・平成26年度も利用者に喜ばれる給食作りをしていくということを大切にしていきたい。

〈Ⅲ〉 防災

担当：秋元兼洋

【実施状況】

○ワークショップ大鱈

実施日	訓練種別	訓練時間	想定	震度・出火場所	避難場所	避難時間
5 / 2 2	部分訓練	10 : 20 ~ 10 : 30	地震	震度5 40秒	駐車場	—
9 / 2 5	総合訓練	10 : 30 ~ 10 : 45	火災	1階調理室	駐車場	3分02秒
3 / 1 2	総合訓練	10 : 15 ~ 10 : 30	火災	1階洗面所	駐車場	4分31秒

- ・利用者に対し、点呼時返事を大きくするように指導を行った。
- ・おはしの徹底（押さない・走らない・しゃべらない）をした。
- ・職員に対し、消火・誘導・放送の分担を明確にして責務を果たした。
- ・消火器を実際に使用して消火訓練を行なった。

○ケアホームつつじ

実施日	訓練種別	訓練時間	想定	震度・出火場所	避難場所	避難時間
5 / 2 9	総合訓練	16 : 30 ~ 17 : 00	火災	1階台所	駐車場	3分05秒
9 / 2 6	総合訓練	16 : 30 ~ 17 : 00	火災	2階居室	駐車場	—
3 / 1 2	総合訓練	16 : 30 ~ 17 : 00	火災	2階居室	駐車場	2分41秒

- ・利用者に対し、点呼時返事を大きくするように指導を行った。
- ・おはしの徹底（押さない・走らない・しゃべらない）をした。

【次年度への課題、方向付け】

- ・全職員が消火器の取り扱い方を覚えるようにしたい。
- ・放送機器の取り扱いと順序の再確認が必要。

〈Ⅳ〉 広報

1. 広報誌「阿闍羅」

担当：佐藤直幸、田中大生

・第9号の発行

(内容) 職員紹介、新利用者紹介、行事報告、作業風景、決算報告

・年3回の発行予定が年度をこえてた上に、1回しか発行できなかった。

今後このような事がないよう発行していく。

2. ホームページ

担当：中畑幸、飛嶋治輝、田中大生

・今年度はレクや地域の祭り・各種出店など随時更新をしてきた。しかし、更新できていないレクなどがあったため、次年度は更新していきたい。また、携帯電話からも更新できるので、イベントなどの時には開催中に更新していきたい。

・平成25年度は、行事等についてだいぶ更新出来ていたように思う。しかし、事業内容等法人についての紹介や取り組みについて、更新や追加が低迷していた。平成26年度はホームページ全体の充実と更新できる職員の研修をしたい。

阿闍羅会公式ホームページURL

<http://ajarakai.jp/>

携帯サイト <http://ajarakai.jp/i/>

3. その他の広報

担当：簾内美希子、飛嶋治輝

◇大鰐町民文化祭への参加



今年度はショップではレクの中で、作品を作り、キャンパスでは一人一人から作品を提供していただいた。その他に両施設のPOPを作り展示している。作品の数もあり、スペースをうまく使えたのではと思う。反省点としては、あらかじめパネルの枚数を把握していればもっと良い展示ができた。

◇地域祭り等への参加

チャレンジド・ショップ運営協議会を中心にし、施設紹介も含め、生産物のアピール及び展示即売する形で参加した。また、当法人だけではなく、近隣の同様な施設の物についてもPR及び販売をしている。

今年度は全国大会が青森県・北海道など近隣にて開催されたためいつも以上にPRできた。

参加状況

- ・大鰯温泉つつじまつり
 - ・各種施設のまつり
 - ・全国生産活動就労部会全国大会
 - ・精神保健福祉全国大会
 - ・鰯 come 祭り
 - ・大鰯まるごと商人市
- など。

〈V〉 研修及び会議

(1) 会議開催状況

①事業会議

担当：竹内友紀、植田善久

開催日	構成員	会議内容
3 / 13、4 / 18、5 / 23、 6 / 27、7 / 18、8 / 22、 9 / 19、10 / 17、11 / 21、 12 / 19、1 / 23、2 / 20	全職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事日程 ・ 作業予定 ・ 収支報告 ・ 職員体制について ・ 事業展開について など

②給食会議

担当：十川文乃

開催日	構成員	会議内容
3 / 13、4 / 18、5 / 23、 6 / 27、7 / 18、8 / 22、 9 / 19、10 / 17、11 / 21、 12 / 19、1 / 23、2 / 20	全職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食業務、内容の協議 ・ 思考調査の検討 ・ 調理、味付けの工夫等の検討 ・ 利用者給食指導の内容報告と検討

③ケース会議・就労会議

担当：田中大生

開催日	構成員	会議内容
4月 3日(水)	全職員	・ モニタリング、三者面談について、他
5月 8日(水)		・ 職員研修、ケースカンファレンス、他
6月12日(水)		・ 行事計画について、研修報告、他
6月18日(火)		・ 新規利用者作業能力評価、作業レイアウト、他
7月10日(水)		・ ケースカンファレンス、モニタリング、リスクマネジメント、他
8月 7日(水)		・ 研修報告、訪問記録
9月11日(水)		・ 研修報告、ケースカンファレンス、職員研修、他
10月 2日(水)		・ モニタリング、個別支援計画書について、他
10月 8日(火)		・ 研修報告、モニタリング、個人別作業能力評価
11月 6日(水)		・ 研修報告、三者面談報告、他
12月11日(水)		・ ケースカンファレンス、研修報告、職員研修、他
1月 8日(水)		・ 研修報告、訪問記録、モニタリング、職員研修、他
1月22日(水)		・ 家庭訪問記録、平成26年度行事計画作成(案)
2月 5日(水)		・ 研修報告、訪問記録、ケースカンファレンス、他
2月19日(水)		・ ケースカンファレンス、新規利用者、他
3月 4日(火)		・ 研修報告、訪問記録、ケースカンファレンス、新規利用者、他
3月26日(水)		・ 研修報告、訪問記録、新規利用者、モニタリング、平成26年度ケース担当について、他

(2) 研修等参加(実施)状況

実施日	研修等参加(実施)名	場所	参加者
5月10日	安全運転管理者講習	大鰐総合福祉センター	鎌田
5月11日	就労継続支援B型施設向け スキルアップ研修(テミル研修)	八戸ユートリー	田中、對馬、簾内、飛嶋
5月20日	平成25年度鰐come産直の会講演会	鰐come	秋元
6月4日～6月5日	全国的知的障害者関係施設長等会議	東京国際フォーラム	田中
6月8日	就労継続支援B型施設向け スキルアップ研修(テミル研修)	八戸ユートリー	泉谷、簾内
6月20日	自閉症スペクトラムネットワーク連続講座 ①	弘前市社会福祉センター	職員11名
6月20日～6月21日	東北地区知的障害者福祉協会 施設長連絡協議会	ホテル華の湯	田中
6月22日	阿闍羅会全職員対象研修会 (障害を持つ子の親の立場から、他)	ワークショップ大鰐	全職員
6月28日	安全衛生大会	クラウンパレス青森	田中、對馬
7月3日	農福連携に向けて東北農政局と障害者 農業就労実践者等との意見交換会	八戸合同庁舎	秋元
7月9日	弘前大学公開講座 自閉症の生物学的側面について	弘前大学	鎌田、田中
7月13日	就労継続支援B型施設向け スキルアップ研修(テミル研修)	八戸ユートリー	飛嶋、簾内、泉谷、秋元
7月31日	ハーベストマーケット活用のすすめ	がだれ横町	田中、飛嶋、秋元
8月10日	就労継続支援B型施設向け スキルアップ研修(テミル研修)	八戸ユートリー	泉谷、幸山、秋元、三上
8月20日	鰐come産直の会視察研修	紫波フルーツパーク	秋元
9月4日～9月6日	全国的知的障害者福祉関係職員研究大会	朱鷺メッセ	田中
9月14日	就労継続支援B型施設向け スキルアップ研修(テミル研修)	八戸ユートリー	泉谷、秋元、飛嶋、對馬
9月19日～9月20日	東北地区知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会協議会	ホテル華の湯	田中
9月28日～9月29日	全国生産活動・就労支援部会職員研修 会	ホテルロイトン札幌 赤レンガ庁舎前庭園広場	田中、中嶋、飛嶋、竹内、鎌田
10月10日	「ひろ」ネット オンブズマン合同勉強会	弘前学習センター	田中、對馬
10月11日	障害者虐待及び障害者に関する研修	ホテルニューキャッスル	對馬
10月12日	就労継続支援B型施設向け スキルアップ研修(テミル研修)	八戸ユートリー	泉谷、秋元、飛嶋、對馬
10月28日	相談支援従事者初任者研修(講義部分)	県民福祉プラザ	竹内
11月7日～11月8日	青森県知的障害者福祉協会利用者職員 研修会	青森国際ホテル	田中、對馬 利用者:工藤久美子 さん、工藤ミツ子さん
12月21日	就労継続支援B型施設向け スキルアップ研修(テミル研修)	八戸ユートリー	飛嶋
1月17日	自閉症支援セミナー(応用編1)	アスパム	飛嶋
2月1日	東北若手福祉従事者ネットワーク 未来を彩る「ふくし」フォーラム	ワ・ラッセ	田中、飛嶋、鎌田
2月8日～2月9日	青森県知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会研修会	ホテルニューキャッスル	田中、對馬、飛嶋、泉谷、鎌田、 幸山、秋元、竹内、簾内、赤川
2月13日	食と地域の魅力アップフォーラム	鰐come	飛嶋
2月22日	阿闍羅会全職員対象研修会 (障害者虐待防止に関する研修)	ワークショップ大鰐	全職員
3月1日	自閉症支援セミナー(応用編2)	アスパム	中嶋、鎌田、飛嶋
3月7日	権利擁護・成年後見制度セミナー	青森県総合社会教育センター	泉谷

〈VI〉 地域生活支援

(1) ケアホームつつじ

○住居 定員6名、現員5名（平成26年3月31日現在）

利用者内訳（生活介護3名、就労継続支援B型2名）

（区分2：1名、区分3：3名、区分4：1名）

○食事 メニューについては栄養面を配慮し、入居者の意見を聞きながら作っている。
健康面を留意して、好き嫌いなく何でも食べられるように工夫している。

○内容及び次年度への課題

- ・世話人が研修に参加して、より質の高い支援を求めていく。
- ・利用者の生活の安定をはかり、住みやすい環境を作っていく。
- ・バックアップ施設としても訪問回数を増やして入居者の現状を把握して、何でも相談しあえる環境を作っていきたい。
- ・利用を希望する人が増えてきているため、それに答えることが出来るようにしていきたい。

〈Ⅶ〉 苦情解決

○施設担当職員

苦情解決責任者 施設長 田中大生
苦情受付担当者 生活支援主任 泉谷文子

○第三者委員

ひろさき地域福祉ネットワーク・オンブズマン委員会（ひろネット）
訪問委員 寺口美代子、工藤昌子（2名）

○訪問記録

訪問日	委員名	状況と問題点
4 / 24	寺口、工藤	5名の利用者と面談 特に問題なし
5 / 9	寺口、工藤	6名の利用者と面談 特に問題なし
6 / 19	寺口、工藤	5名の利用者と面談 特に問題なし
7 / 16	寺口、工藤	6名の利用者と面談 特に問題なし
8 / 28	寺口、工藤	3名の利用者と面談 特に問題なし
9 / 24	寺口、工藤	4名の利用者と面談 特に問題なし
10 / 29	寺口、清藤	4名の利用者と面談 特に問題なし
11 / 26	寺口、工藤	7名の利用者と面談 特に問題なし
12 / 17	寺口、工藤	6名の利用者と面談 特に問題なし
1 / 21	寺口、工藤	6名の利用者と面談 特に問題なし
2 / 18	寺口、工藤	4名の利用者と面談 特に問題なし
3 / 11	寺口、工藤	5名の利用者と面談 特に問題なし

〈Ⅷ〉 がんばろう障害者元気ショップ事業

担当：中嶋綾子

平成24年3月31日を以て終了になった「チャレンジド・ショップ応援事業」の体制と効果を継続させるべく県からの委託を受け「がんばろう障害者元気ショップ事業」を立ち上げ実施してきた。前年度までの課題であった販路拡大、製品紹介、認知度アップ等については現在の顧客関連、イベントの出店で製品紹介は多少ではあるができたと思う。しかし販路拡大とまではいかず現状維持となった。

参画施設間での情報交換の場として会議の回数を増やし現況報告や商品の情報をいただいている。

A型事業所に向けての取り組みとしては、なかなか時間がとれなかった。今後も情報収集が必要である思う。

○参画施設及び年間売上

ワークキャンパス大鰐	2,098,740円
ワークショップ大鰐	4,069,800円
ワークランド茜	136,400円
月見野園	0円
月見野食房	35,720円
夢工房月見野	715,550円
いわきの里	12,050円
玄輝門	16,000円
エイブル	301,665円
MEGO	64,890円
青松園	0円
ワークセンターつばき	250円
ないすらいふ	86,290円
つがる野工房	0円
就労サポート弘前	141,300円
せせらぎの園	101,287円
サポートセンターさくら	15,600円
ワークセンターのれぞれ	13,650円
合 計	7,809,192円

○参加イベント

5月24日～6月1日	大鱈温泉つつじ祭り
6月8日～6月9日	まるごと大鱈商人市
8月10日～11日	全国障害者研究問題会
9月28日～29日	全国生産活動・就労支援部会 職員研修会 北海道庁赤レンガ庁舎前広場
10月13日～14日	まるごと大鱈商人市
10月13日	さくら園まつり
10月25日	精神保健福祉全国大会
11月23日	第8回アップルフェア
11月25日	第28回大鱈町社会福祉大会
1月25日	大鱈グルメあったか祭り
3月16日	春の鱈 come まつり

○次年度への課題

元気ショップ事業は平成26年3月31日を以て終了となったが、今後の方向性として今までの協議会へ参画して下さっていた施設と当法人とで売買契約を結び、現状の取引を継続していく。

県からの助言指導もふまえながら進めていく。

販路拡大 製品紹介 認知度アップ等は今以上に成し遂げられるよう努力していく。また次年度 A 型事業所立ち上げる際、必要なことが一つでも多く学べるよう研鑽等していきたい。